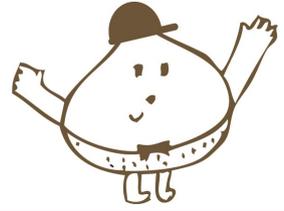


崎山地区まちづくり協議会

まち協通信 第30号



交通安全キャンペーン(9/21~9/30)



9月22日(木)に崎山地区安全なわが街づくり推進会議の皆さんが、交通安全キャンペーンの一環として朝の出勤時間帯にドライバーの方々に安全運転のお願いの声掛けをしました。出勤前の急いでいる中、快く車を停めていただきありがとうございました(*^^*)

交通安全キャンペーンは終わりましたが、皆さん安全運転を心掛けましょう！だんだん日も短くなってきました。歩行者の方もドライバーさんに分かるように、反射板などを付けて歩きましょうね！横断歩道は歩行者が優先です。車は一時停止、歩行者も手を挙げて渡ってくださいね(・ω・)/

鬼岳火山群の溶岩台地（ジオ）に生きる “さっきゃまびと”

Vol.15

2022.11.1 発行

発行責任者

崎山地区まちづくり協議会

会長 古里 幸一

090-2393-1990

・・・様変わりしたさっきゃまカンコロ棚・・・



縄文中期から弥生中期にかけ生活していた“さっきゃま先人”たちは、先祖の御霊が戻る山・神が宿る山として火の嶽を崇めていたのだろうか。先人たちには火の嶽は見えて、鬼嶽はみえなかったのだろうか。今から約6,000年前を想像することはできないが、白浜貝塚周辺からは鬼嶽を眺望できないことがわかる。あまりにも短絡しすぎではあるが、だからこそ火の嶽は「山の神」としてさっきゃまびとの信仰の山として継承されているのだと考えながら車を走らせると、芋畑で「カンコロ棚」を造っている夫婦に出会う。

令和のカンコロ棚は骨組みは金属製パイプで屋根はビニールシート、とてもカラフルでカッコいい。木枯らしにも雨にも負けない頑丈さである。ただ、昔と同じだな！！と彷彿とさせるものがあった。夫婦二人で作業する姿が、小学生の頃の母方祖母、叔父に重なったのである。昭和30年代 芋畑の一角を早めに収穫し、カンコロ棚を造るのを手伝っていた頃の懐かしい記憶がよみがえってきた。骨組みの叉木や丸太を運んだり、棚竹を並べたり、屋根の麦藁を耕運機（メイキ）から運んだり子供ながらに手助けとなっていた。

生芋の入ったカマス（カマ）を耕運機から運ぶ時、一歳年下の従弟は平気に担ぐのに私は座りこんでしまい、叔父に”しょしゃんなか”と笑われたのを今でも鮮明に覚えている。木枯らしや曇降るなか、鼻水垂らしながら、生芋を切ったカンコロを棚に運んでいた懐かしい昭和のカンコロ棚。先般、仕事仲間の大先輩にその話をしたら、当時の写真を探し出してくれた。話して良かった。写真提供や撮影に協力していただいた諸先輩に感謝・感激！！

叔父と祖母に手伝っていた頃の「さっきゃまカンコロ棚」。

叉木、丸太、竹、麦藁、縄の代わりに葛のつる、コモ・・・

メイキ、コイドラ、カンコロ切り機、ホゲ。懐かしい言葉の響きである。

昭和50年代だろうか。カンコロ生産は無くなり、今は湯出ガンコロ干し専用に変容したようだ。当時も湯出ガンコロや大根カンコロ（切干し大根）用にも使われてはいたのが。昭和30年代の写真が左上である。当時を懐かしんでくれるさっきゃまびとがいれば幸いである。今後も崎山を知る古き良き時代の写真があれば、提供をお願いしたい。



ちょっと調べてみました(^^♪



↑
火の嶽とカンコロ棚



↑
カンコロ棚



↑
切り干しカンコロ

カンコロめし→
(写りが悪くてすみません)



←カンコロそば

米作に恵まれない崎山にとっては、何より雑穀が主食だったそうです。今の私たちから考えると、粗食だったんだなあと思います。それでも昔の人たちからすれば、食べなれた食物こそ口に合う最良の食事だったのでしょうね。当時食べていたのが、麦・粟・さつま芋・カンコロ飯・うどん・カンコロ団子・トマメ汁・ぼっばずし等だったそうです。

昔はさつま芋を「甘しょ」と言い、大正期に入って島内農産物中の首位を占め農家の主食に充てる外、焼酎・でんぷんの原料として移出していました。昭和期には島内の主幹作物としてさかんに栽培され、特に戦中戦後の食糧難時代には島内の人口増加・経済の立て直しに貢献しました。甘しょは多種多様に姿を変えて人々の口に入り、幾たびかの飢饉、食糧難の時代に人々を飢えから救った貴重な作物だったんです。

しかし、昭和44年(1969年)糖蜜の輸入自由化により、アルコール原料としての切り干し甘しょの需要が激減したことに加え、戦後復興による生活水準の向上により既に主食の座を米麦に奪われていたことから作付面積は急速に減少していきました。甘しょは昭和41年には、作付面積2,220ha 収穫量42,600ト、昭和47年には作付面積1,020ha 収穫量26,400ト、と約半分に、平成3年には、作付面積268ha 収穫量5,520トと減少しています。(五島市全体の数値です。) (福江市史・下巻より)

崎山地区人口統計表

(令和4年9月30日 現在)

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	10区	11区
男	74	74	45	58	56	52	73	93	92	40	43
女	87	84	62	76	67	61	85	109	91	52	52
合計	161	158	107	134	123	113	158	202	183	92	95

崎山地区全体 男 700名 女 826名 計 1,526名 (先月比-9名)

崎山児童遊園の草払いをしました。



今回実施した住民アンケートに、子供を遊ばせられるような公園がない、または整備をきちんとして欲しいという意見がありました。

夏休みから崎山児童クラブの子ども達や先生が、草を取ってくれたり石を拾ってくれたりして、崎山児童遊園に遊ぶ子どもを取り戻そうと頑張ってくれています！

皆さん！公園で遊んでください！いっぱい遊んで踏むことで、草が生えにくくなります！涼しくなりましたよ！たまには外で遊びましょう♪(*^^*)

エレナ移動スーパー“パオパオ号”知っていますか？



崎山地区にパオパオ号が来るようになってから、1年以上経ちますが、皆さん利用されていますか？

毎週土曜日 崎山漁港広場 10時～10時50分
崎山出張所前 11時～12時

エレナに行かなくても、崎山で買い物ができるんですよ♪まだ利用したことがないという方がいらっしゃいましたら、いつてみてください！いろんな商品を取り揃えていますよ(≧▽≦)

“パオパオ号”お買い物をお手伝いしてくださる方 募集しています(=°ω°)/

今回実施した住民アンケートで、「毎週土曜日来ているパオパオ号で高齢者が購入する時、簡単な介助をする方を募集します。」という質問をしました。数名の方が希望していただき、嬉しいです。ありがとうございます。👤ところが何名か希望するに○を付けているのですが、お名前が書いておらず連絡できない状態です。書いたかな？または、やっぱりお手伝いしたい！と思っている方いらっしゃいましたら、崎山出張所・奥野まで連絡ください！(≧▽≦)

連絡先はコチラ



崎山地区まちづくり協議会 事務局 集落支援員 奥野

五島市役所 崎山出張所内 TEL 0959-73-6389